

年末年始の感染拡大に 注意しましょう!

年末年始は、飲酒や会食の機会が増えます。「感染リスクが高まる5つの場面」と「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」に注意し、引き続き感染拡大防止に取り組みましょう。

問合先 長寿健康課健康づくりグループ (あいあい ☎84-3316)

感染リスクが高まる「5つの場面」(一例)

場面1 飲酒を伴う 懇親会等



飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。

場面2 大人数や長時間におよぶ飲食



長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。

場面3 マスクなしでの 会話



マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。

場面4 狭い空間での 共同生活



狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。

場面5 居場所の 切り替わり



休憩時間など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫(一例)

<利用者ができること>

- 飲酒をするときは、
 - ① 少人数・短時間で
 - ② 普段一緒にいる人と
 - ③ 適度な酒量で
- 箸やコップは使い回さない
- 席の配置は斜め向かいに
- 会話するときは、できるだけマスクを着用
- 体調が悪いときは参加しない

<お店ができること>

- ガイドラインの遵守
 - ・従業員の体調管理やマスク着用の徹底・換気を適切に行う
 - ・席の間隔を空けるなど、人と人との距離を確保する
- 利用者に接触確認アプリ(COCoAや安心みえるLINE)のダウンロードを働きかける